

令和 7 年第 5 回北栄町議会定例会
一般質問 質問事項一覧

	質問者	質 問 事 項	質問の相手
1	5番 尾嶋 準一	海岸浸食について	町 長
2	10番 町田 貴子	精神障がいについて	町 長 教 育 長
3	6番 奥田 伸行	児童生徒の読解力について	教 育 長
4	3番 井川 敦雄	自転車利用者の交通安全対策について	町 長 教 育 長
5	8番 油本 朋也	大栄地区の整備計画	町 長
6	4番 蓑原 美百合	健康寿命の延伸に向けて必要なフレイル予防について	町 長
		命を守るための熱中症対策について	町 長 教 育 長
7	2番 河本 文哉	地域で稼ぐまちづくりについて	町 長
8	1番 中山 功一	業務適正化の取り組みについて	町 長
		体験的学習活動等休業日の導入について	町 長 教 育 長
		全国学力・学習状況調査について	教 育 長
9	13番 長谷川 昭二	中小企業の賃上げ支援について	町 長
10	9番 斉尾 智弘	食料・農業・農村基本法改正法を基にした本町の今後の取り組み	町 長
		子育て支援の一環として誰もが安心して搾乳できる環境づくりについて	町 長
		若者・女性に選ばれるまちづくりについて	町 長
11	7番 秋山 修	持続可能な財政運営について	町 長
12	11番 前田 栄治	町長選挙出馬と町政運営について	町 長
	計 12人	計 17 問	

議長	局長	回議	主査
			

受付番号 6定-1番
令和 7年 5月 1日
午後 4時13分 受領

令和7年5月1日

北栄町議会議長 野田 秀樹 様

北栄町議会議員

尾嶋 準一



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
海岸浸食について	令和3年12月、令和4年12月に海岸浸食について一般質問をしています。令和3年度の質問に対してその後の県の回答では、「当土地が民地であるため立ち入りの説明をおこなったところ同意が得られませんでした。引き続き説明を行い同意が得られましたら工事にかかる」とお聞きしましたが、その後何も来ていません。どうなりましたでしょうか、お伺いします。 毎年、海岸浸食が進み保安林に影響が出ています。特に冬の時期には波が保安林近くまで来て砂浜を削り、そのうち保安林がなくなり住宅までくるのではないかと住民は不安であります。何とか保安林の砂浜が削られないようにできないでしょうかお伺いします。	町 長

議長	局長	回議	主査
			

受付番号 6定-2番
令和 7年 5月 7日
午前 8時30分 受領

令和7年5月5日

北栄町議会議長 野田 秀樹 様

北栄町議会議員

町田 貴子



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
精神障がいについて	精神障がいは、精神疾患によって地域社会での生活に困難が生じる状態のことです。精神疾患は特別な病気ではなく、誰もがかかりうる病気です。それにもかかわらず社会からの間違った認識により苦しんだり、悩んでいる当事者や家族がいます。 発病には脳の「伝達物質」の不調やストレスなどいろいろな要因が関係しています。コミュニケーションの苦手や過度の不安、緊張などの生活のしづらさがあり、ひとりひとり違う症状にあった「治療」と「リハビリテーション」が必要です。 病気の正確な知識、認識の普及で回復につながることもあります。本人や家族が地域・社会で安心して暮らせるように、啓発や支援が必要です。そこで以下の項目について伺います。 ①啓発について伺います。 ・現在、町では窓口でのリーフレット配付、電話相談が実施されているが、まだまだ相談件数は多くない。町報掲載などのほかに考えられる取り組みは。 ・誰でも自由に参加できる「集まりの場」などの設置は可能か。 ・障がい者理解公開講座（障がいの特性など）、講演会、研修会の開催は可能か。 ・ピアサポーターの活用（派遣）が必要とされている。様々な機会での活用を期待するが、町長に伺う。 ②小中学校の精神保健教育について伺います。 ・スクールカウンセラー・あいサポート研修を実施されているが、その成果は。 ・教員の研修は十分か。	町 長 教 育 長

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	③精神障がいのある方の雇用及び定着支援促進について伺います。 ・現在、町職員として採用されている方もいるが、増員の予定はあるか。 ・障がい者には人それぞれ特性があり就労時間も一定しない場合がある。仕事の内容によっては継続が困難な場合もあるが、柔軟な対応ができる体制を整えるため職員研修が必要だと思うが町長に伺う。	

議長	局長	回議	主査
			

受付番号 6定-3番
令和 7年 5月 7日
午前 8時30分 受領

令和7年5月5日

北栄町議会議長 野 田 秀 樹 様

北栄町議会議員

奥田 伸行



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
児童生徒の読解力について	今、「教科書が読めない子どもたち」が増加していると聞いています。思考力・読解力が低下しているのではないかと危惧しています。小中学校の全国学力テスト、高校入試と、非常に読解力が求められる問題が多くなっています。 以下の点を伺います。 ①今の児童生徒の読解力をどのように把握しているのか。 ②読解力アップのための取り組み状況は。	教 育 長

議長	局長	回議	主査
			

受付番号 6定-4番
令和 7年 5月 7日
午前 8時30分 受領

令和7年5月6日

北栄町議会議長 野 田 秀 樹 様

北栄町議会議員

井川 敦雄



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
自転車利用者の交通安全対策について	2023年4月から、道路交通法の改正により、全ての自転車利用者にヘルメットの着用が努力義務化された。また、2024年11月からは、自転車に関する罰則の強化及び追加が実施された。しかし、ヘルメットの着用率は警察庁が2024年7月に行った調査では、全国平均17.0%で鳥取県では32.7%となっている。 自転車は軽車両であるという認識を持つことが重要である。自転車に関連する交通事故が増加傾向にある中、利用者は自らの身を守ることはもちろん、歩行者などとの事故を起こさないため交通ルールを遵守する必要がある。 自転車に関する交通安全対策を町として行っていくことが、安心・安全なまちづくりの一つと考え、以下の質問をする。 ①自転車利用時のヘルメット着用率向上に対する取り組みは。 ②自転車用ヘルメット購入補助金を実施している自治体があるが、本町での導入の考えは。 ③小中学生の自転車利用時の交通安全指導は。 ④高齢者への自転車利用に対する交通安全対策は。 ⑤自転車利用者全体への交通安全対策として町が取り組む施策は。	町 長 教 育 長

議長	局長	回議	主査
			

受付番号 6定-5番
令和 7年 5月 8日
午前 8時30分 受領

令和7年5月8日

北栄町議会議長 野田 秀 樹 様

北栄町議会議員

油本 朋也



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
大栄地区の整備計画	リニューアルオープンされ期待通りの賑わいを見せている「道の駅ほうじょう」と、二年後に移転新築を控える「青山剛昌ふるさと館」という県内でも突出した人気スポットを有する本町。 来年度にも予定される北条湯原道路との接続と全線開通が待たれる山陰道など、それらの相乗効果による一層の地域経済の好循環を図るには、以前から声が上がっているように増加が見込まれる観光客の町内での滞在時間の延長に加え、町の玄関口の一つであるＪＲ由良駅の利便性の向上、及び地元住民の生活に不可欠な「道の駅大栄」の再整備への具体的な着手が喫緊の課題となるのではないかと。 第２世代交付金の活用で「地方創生２．０」に取り組み「稼ぐ力の強化と地域経済循環の活性化」の実現を目指すとされる本町の「次の２０年への基盤づくり」という将来への構想の中で、顕在化が予想される課題の解決策と今後の方向性に関し以下の点を中心に伺う。 ①「道の駅大栄」の賑わいの維持と再整備計画 ・「道の駅ほうじょう」との共存に必要な政策 ・老朽化が進行する店舗に必要な改修及び移転も含めた支援策 ②宿泊環境の整備計画 ・宿泊施設誘致に関する具体的政策及び進捗状況 ・滞在時間の延長及び宿泊を促すため、夜間まで営業する飲食店等の支援 ③ＪＲ由良駅の利便性向上への実効性を伴う要望 ・交通系ＩＣカードが利用できる自動改札の導入 ・特急「スーパーはくと」の乗り入れの実現	町 長

議長	局長	回議	主査
			

受付番号 6 定 - 6 番
令和 7 年 5 月 1 2 日
午前 8 時 3 0 分 受領

令和 7 年 5 月 1 0 日

北栄町議会議長 野 田 秀 樹 様

北栄町議会議員

蓑原 美百合



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
健康寿命の延伸に向けて必要なフレイル予防について	昨年、高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第 3 版が策定され、また高齢社会対策大綱も改訂されました。高齢者が健康を維持し、自宅で自立した生活をおくることができるよう、高齢者の特性を踏まえた健康支援の必要性が掲げられています。 本町の高齢化率は約 37%（3 月 1 日現在）です。フレイル予防は健康寿命の延伸や介護予防につながる喫緊の課題と考えます。 そこで、本町での取組について伺います。 ①身体的フレイル、精神・心理的フレイル、社会的フレイル、3 つのフレイル予防についての対応状況と課題を伺います。 ②聴覚機能の低下によって起きる体の衰え「ヒヤリングフレイル」についての取組状況を伺います。 ③フレイルを予防するため地域住民が予防活動をサポートするボランティア、フレイルサポーター養成についての見解を伺います。 ④健診受診率向上のための取組について伺います。	町 長
命を守るための熱中症対策について	熱中症の重篤化を防止するため、本年 6 月 1 日から労働安全衛生規則が改正されました。 気象庁から発表された 2025 年の予測データでは、6～8 月の気温は全国的に平年より高い予想となっており、今年の夏も全国的に「また猛暑」となる予想です。 そこで、本町における熱中症対策について伺います。 ①熱中症弱者のための熱中症対策について伺います。	町 教 育 長

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	②クーリングシェルトの設置状況、周知方法について伺います。 ③昨年度の熱中症発生状況、熱中症発生時に学校における熱中症対策ガイドラインに基づいてどのように対応されたか伺います。 ④中学校における生徒の脱水症予防として、部活動や夏場など、水分補給が特に重要になる場面で役立つ、水道直結型ウォーターサーバーの設置について見解を伺います。	

議長	局長	回議	主査
			

受付番号 6定-7番
令和 7年 5月12日
午前 8時30分 受領

令和7年5月11日

北栄町議会議長 野 田 秀 樹 様

北栄町議会議員

河本 文哉



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
地域で稼ぐまちづくりについて	道の駅ほうじょうを起点に大型プロジェクトが進行する中、次の20年への基盤作りが示された。これからの方向性として、地域で稼ぐまちづくりについて以下の点を伺う。 ①青山剛昌ふるさと館を核とした観光事業とそこから派生する店舗や事業所などの誘致も含む産業振興についての長期的なビジョン。 ②ふるさと納税の返礼品についての商品開発と高付加価値化の具体的な戦略。 ③町有地や公共施設を活用した収益化プラン。	町 長

議長	局長	回議	主査
			

受付番号 6定-8番
令和 7年 5月12日
午前 8時30分 受領

令和7年5月12日

北栄町議会議長 野 田 秀 樹 様

北栄町議会議員

中山 功一



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
業務適正化の取り組みについて	昨年度、不適切な業務が3件報告された。4年以上前からの誤った業務についての報告もあった。報告が上がりやすい体制の構築、発覚後の早急な対応は評価している。一方で、対策については不十分であると感じている。今後の対応について伺う。 ①対策として「ダブルチェックを徹底する」とのことであるが、これで十分だとの考えか。 ②原因究明はどの程度行ったのか。それについての具体的な対処方法は。 ③町においては今のところ努力義務ではあるが、いずれは取り組まなければならない。今回の件が取り組みを始める良い機会であると考えているが、所見を伺う。	町 長
体験的学習活動等休業日の導入について	県内においても「体験的学習活動等休業日」を導入している自治体がある。北栄町における取り組みについて伺う。 ①導入する予定はないか。 ②導入により、夏休みの数日を振り替えることで夏休みを短くし、冷房の効いた学校で過ごす日を増やせるが、所見を伺う。	町 教 育 長
全国学力・学習状況調査について	毎年、「全国学力・学習状況調査」を行っている。春にテストを行い、半年以上たってから結果が公表される。この取り組みについて以下を伺う。 ①全国学力・学習状況調査とはどのようなものか。 ②調査結果をどのように活用しているのか。 ③「とっとり学力・学習状況調査」で十分ではないか。	教 育 長

議長	局長	回議	主査
			

受付番号 6定-9番
令和 7年 5月12日
午前 9時46分 受領

令和7年5月12日

北栄町議会議長 野田 秀樹 様

北栄町議会議員

長谷川 昭二



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
中小企業の賃上げ支援について	岩手県では、全国に先駆けて中小企業への支援金制度を設け、賃上げを後押ししている。その目的は、「昨今の物価高騰により、物価上昇に実際の賃金が追いついていないことをふまえ、県内の中小企業等の賃上げの加速化を図り、中小企業の必要な人材を確保していくため、物価高騰対策賃上げ支援金を給付します」としています。こうした事例をもとに以下の賃金引き上げ支援に関して伺う。 ①賃金が物価上昇に追いついていない現状及び様々な業種において人材不足が生じていることについて所見と対策を伺う。 ②県・国へ、岩手県のように賃金引き上げのために中小企業支援制度をつくるよう求めることについて見解を伺う。	町 長

議長	局長	回議	主査
			

受付番号 6定-10番
令和 7年 5月12日
午前10時02分 受領

令和7年5月12日

北栄町議会議長 野 田 秀 樹 様

北栄町議会議員

齊尾 智弘



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
食料・農業・農村基本法改正法を基にした本町の今後の取り組み	2024 年の改正基本法は大きく 4 つの理念を掲げている。本町でどのように取り組んでいくのか、以下の点について伺う。 ①食料安全保障の確保。 ②環境と調和のとれた食料システムの確立。 ③農業の持続的な発展。 ④農村の振興。	町 長
子育て支援の一環として誰もが安心して搾乳ができる環境づくりについて	現在多くの人が利用する施設には「授乳室」の設置が進んでいるが、授乳室で「搾乳」もできることについては、まだ一般の理解が進んでいない。出産や子育てへの支援を充実するため、授乳室でも搾乳しやすい工夫や、職場における搾乳など、必要な方が安心して搾乳できる環境づくりに取り組むべきと考えるが見解を伺う。	町 長
若者・女性に選ばれるまちづくりについて	人口減少社会において若者・女性に選ばれる町となることは大変重要な視点である。そこで次の点について伺う。 ①男女共同参画推進の成果と課題。 ②婚活事業の課題。 ③ウェルビーイング向上事業の課題。	町 長

議長	局長	回議	主査
			

受付番号 6定-11番
令和 7年 5月12日
午後 1時07分 受領

令和7年5月12日

北栄町議会議長 野 田 秀 樹 様

北栄町議会議員

秋山 修



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
持続可能な財政運営について	①平成 29 年度決算期から、それまでの現金主義・単式簿記で作成された決算書に加えて、資産・負債のストック情報やコスト情報をより正確に把握し、財政状況の分析や意思決定を改善することを目的として、発生主義・複式簿記で作成された新地方公会計制度による財務書類等が公表されている。 ・公表された国の統一的な基準に基づく財務書類（財務 4 表及び固定資産台帳）は、一般会計、全体会計、連結会計と 3 種類ある。一般と全体、全体と連結の違いは何か、また決算書分析から得られた情報を伺う。 ・平成 29 年度から令和 5 年度までの財務書類の決算書分析から得られた情報は何か伺う。 ・新地方公会計に取り組む前提として、正確な固定資産台帳を求められていたが、問題となっていることはないか伺う。 ②決算情報の中で、過去歳入・歳出の特別会計を収益・費用の公営企業会計に移行した下水道事業会計、風力発電事業会計がある。移行目的、メリット、デメリットは何か伺う。 ③中期財政見通しについて。 ・現在までのPB（プライマリーバランス）の推移と最新の金額、今後の経常収支比率の見込み数字を伺う。 ・借入を必要とする事業を計画するとき、充当率、交付税措置率の高い地方債で取組むと言われるが、現在の地方債残高のうち地方交付税措置に含まれる金額はいくらか。また、地方債のピークはいつ、いくら残高を見込むか、またピーク時の	町 長

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	実質公債費率、将来負担比率を伺う。 ・基金について、運用方針、運用先、運用商品を伺う。 ④行政の流れをPDCAサイクルで捉えるとき、決算情報を事業評価、次の予算策定にどのように活かしているか伺う。 ⑤第４期北栄町行政改革プランが令和７年度までの実施期間として取組まれている。改革の進捗状況の公表と令和８年度以降の取組み予定を伺う。 ⑥今後、大型投資による借入、基金取崩しなどで町財政の将来を不安視する町民がいる。予算、決算、財政状況の説明会、報告会の開催を予定していないか伺う。 ⑦北栄町の財政状況は厳しいのか。厳しいとすれば原因は何か、今後何によって改善されるのか伺う。	

議長	局長	回議	主査
			

受付番号 6定-12番
令和 7年 5月12日
午後 1時34分 受領

令和7年5月12日

北栄町議会議長 野 田 秀 樹 様

北栄町議会議員 前田 栄治 

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
町長選挙出馬と町政運営について	今年 10 月に町長選挙が執り行われる。令和 3 年の選挙で選挙公報や後援会のしおりに掲げられた公約の結果はどうだったのか伺う。 また、過去何度も質問しているが、町内外者の定住や移住を促進していく上で、働く場所の確保や衣食住等の買い物ができる商業施設出店への環境の整備、医療機関の確保等が必要であるが、今後どうしていくのか伺う。 健康福祉増進や出産保育教育の充実、自動車道早期開通、青山剛昌ふるさと館再整備等、数え上げればきりが無いが、町長肝いりの「未来への投資」は道半ばである。今年度「次の 20 年へ」というフレーズの政策パッケージも掲げられ取り組んでいこうとしておられるが、これからの町政運営をどうしていくかを問うた上で、町長選への出馬をどう考えられているか伺う。	町 長